

平成27年度決算概要

主な決算の概要は以下のとおりです。

業務報告

■道路管理業務

仙台松島道路をいつでも「安全・安心」、「快適」、「便利」に利用いただくために適切な維持管理に努めております。

(1) 維持改良業務

仙台松島道路維持改良費としては、舗装修繕工事、橋梁維持修繕工事、データ処理装置更新工事、道路保全業務委託等を実施しました。

(2) 道路管理業務

仙台松島道路管理費としては、料金收受業務委託、道路パトロール業務委託、料金收受機械保守業務委託、ETCマイレージサービス負担金等に係る経費を支出しました。

(3) その他

有料道路の建設に要した借入金の元利償還、職員の給与及び本社経費等となる一般管理費を支出しました。

■企画割引

ETC 時間帯割引として、平日朝夕割引（利用回数に応じて最大50%還元）、深夜割引（30%割引）及び休日割引（30%割引）を実施しました。

また、東北地方の観光復興を目的として、ETC 車限定で東北地方の高速道路が定額で最大3日間乗り放題となる「東北観光フリーパス」と「ふくしま・みやぎ常磐道フリーパス」を東日本高速道路と共同で実施しました。

さらに、東北地方へのインバウンド観光を呼び込むために、訪日外国人旅行客を対象にETC 車限定で東北6県の高速道路が定額で最大14日間乗り放題となる「Tohoku Expressway Pass」を東日本高速道路と共同で実施しました。

■受託業務

みやぎ県北高速幹線道路は、東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結び、栗原圏域と登米圏域の交流・連携を強化する地域高規格道路であり、被災地の復興支援や災害時における救援物資の輸送道路となる復興支援道路として位置づけられております。

道路延長24kmのうち、Ⅱ期（中田工区）及びⅢ期（佐沼工区）の合計4.0kmに係る建設工事を宮城県から受託（平成27年度～平成32年度まで）し、本年度は軟弱地盤対策のための道路改良工事を実施しました。

損益計算書

■仙台松島道路料金収入

平成27年度の料金収入は前年度から3.6億円増加し、55.5億円でした。

昨年3月に供用開始した全線4車線化によって、走行の安定性や定時性が確保され、より安全性・利便性の向上が図られたことにより、交通量が増加したのが要因です。

■経常費用（償還準備金繰入額を除く）

平成27年度経常費用は前年度から1.5億円減少し、37.1億円でした。

暖冬により除融雪費用が抑えられたことから、道路管理業務費が減少しました。

■償還準備金繰入額

平成27年度償還準備金繰入額は前年度から5.4億円増加し、20.3億円でした。

償還準備金繰入額とは、道路事業における収入から管理費と金利等を合わせた費用を差し引いた収支差で、有料道路建設に投下した借入金の返済に充てられます。

貸借対照表

■償還準備金

平成27年度償還準備金は前年度から20.1億円増加し、350.1億円でした。

償還準備金とは、道路資産の建設に投下した借入金の返済に充てた額の累計です。

■長期借入金（一年以内返済長期借入金を含む。）

平成27年度長期借入金は前年度から21億円減少し、150.1億円となりました。

仙台松島道路Ⅵ期事業・Ⅶ期事業の資金返済によるものです。

■償還率

平成27年度の宮城県道路公社全体での償還率は【償還準備金／道路資産×100】は61.4%となり、前年度と比較して3.5ポイント向上しました。

			3,307,017,767
			858,748,971
		1,213,984	
		771,145,136	
		48,044,469	
		38,345,382	
			2,100,000,000
		1,176,000,000	
		122,000,000	
		702,000,000	
		100,000,000	
			3,503,396
		1,605,669	
		1,867,197	
		30,530	
			344,765,400
		344,765,400	
			13,116,411,786
			12,911,000,000
		8,126,500,000	
		728,500,000	
		3,456,000,000	
		600,000,000	
			4,346,400
		4,346,400	
			91,527,448
		91,527,448	
			109,537,938
		109,537,938	
			51,215,658,823
			16,201,900,596
		16,201,900,596	
			35,013,758,227
		35,013,758,227	
			67,639,088,376
			9,765,000,000

平成27事業年度宮城県道路公社貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	11,612,055,951	流 動 負 債	3,307,017,767
現 金	2,791,720	未 払 金	858,748,971
預 金	8,906,021,633	一年以内返済長期借入金	2,100,000,000
有 価 証 券	1,610,000,000	市 中 銀 行 借 入 金	2,100,000,000
貯 蔵 品	1,655,510	預 り 金	3,503,396
未 収 利 息	5,345,102	受 託 業 務 受 入 金	344,765,400
未 収 金	757,903,012	固 定 負 債	13,116,411,786
前 払 費 用	60,770	長 期 借 入 金	12,911,000,000
受 託 業 務 支 払 金	323,374,000	市 中 銀 行 借 入 金	12,911,000,000
そ の 他 の 流 動 資 産	4,904,204	長 期 預 り 金	4,346,400
固 定 資 産	65,792,032,425	受 入 保 証 金	4,346,400
事 業 資 産	56,991,859,380	ETCマイレージサービス引当金	91,527,448
道 路	56,991,859,380	退 職 給 付 引 当 金	109,537,938
有 形 固 定 資 産	1,918,804,735	特 別 法 上 の 引 当 金 等	51,215,658,823
建 物	2,127,744,397	道 路 事 業 損 失 補 て ん 引 当 金	16,201,900,596
建 物 附 属 設 備	9,905,275	償 還 準 備 金	35,013,758,227
構 築 物	2,966,400	(負 債 合 計)	(67,639,088,376)
機 械 及 び 装 置	14,280,000	基 本 金	9,765,000,000
車 両 運 搬 具	163,905,374	宮 城 県 出 資 金	9,765,000,000
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	14,162,305	(資 本 合 計)	(9,765,000,000)
有形固定資産減価償却累計額	△ 578,204,501		
土 地	164,045,485		
無 形 固 定 資 産	2,040,624		
電 話 加 入 権	2,040,624		
ソ フ ト ウ ェ ア	0		
投 資 ・ そ の 他 の 資 産	6,879,327,686		
敷 金 ・ 保 証 金	26,270		
投 資 有 価 証 券	6,879,067,666		
リ サ イ ク ル 預 託 金	233,750		
合 計	77,404,088,376	合 計	77,404,088,376

平成27事業年度宮城県道路公社損益計算書

平成27年4月 1日から

平成28年3月31日まで

(単位:円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
管理業務費	2,687,604,253	業務収入	5,612,472,063
道路管理業務費	2,622,583,151	道路料金収入	5,553,719,482
附帯施設管理費	65,021,102	附帯事業収入	58,690,292
一般管理費	318,316,597	業務雑収入	62,289
一般管理費	230,564,057	負担金受入	13,140,544
退職給付引当金繰入額	11,237,885	附帯事業負担金受入	12,346,744
有形固定資産減価償却費	76,514,655	原因者負担金受入	793,800
特別法上の引当金等繰入額	2,646,674,128	業務外収入	25,986,071
道路事業損失補てん引当金繰入額	617,080,322	利息収入	20,110,136
償還準備金繰入額	2,029,593,806	雑益	5,875,935
業務外費用	81,309,743	特別利益	85,553,393
支払利息	81,309,743	ETCマイレージサービス引当金戻入益	85,553,393
特別損失	3,247,350		
固定資産除却損	3,245,450		
前期損益修正損	1,900		
合計	5,737,152,071	合計	5,737,152,071

重要な会計方針等

- (注) 1 所有する債券は満期保有目的債券であり、有価証券の評価基準及び評価方法は、平成28年4月1日以降に取得した債券から、償却原価法(定額法)によっている。
- 2 平成19年4月1日以降に取得した固定資産の減価償却は、定額法により償却している。
平成19年3月31日以前に取得した固定資産の減価償却は、旧定額法により償却している。
- 3 消費税の会計処理は、税込み方式によっている。
- 4 ETCマイレージサービス引当金は、ETCマイレージサービス制度(平日朝夕割引含む)による無料走行に備えるため、期末におけるポイント発行残高に対する将来の使用見込額を計上している。
- 5 退職給付引当金は、職員の退職金の支給に充てるため、期末要支給額の全額を計上している。
- 6 道路事業損失補てん引当金繰入額は、一般有料道路事業に係る損失を補填するため、各年度の料金収入額(消費税抜き)に12%を乗じて得た額を計上している。
- 7 道路事業損失補てん引当金は、道路事業損失補てん引当金繰入額の累計額であり、仙台松島道路については、4車線供用日(平成24年7月12日)以降、乗じる率を10%から12%に変更している。
- 8 償還準備金は、道路資産への投下資金の回収(借入資金の償還)のために積み立てた額であり、各年度の道路の収益が費用を超える額を計上している。